

進路だより

天草支援学校 進路指導部
令和7年12月24日(水)発行
第2号

あっという間に2学期が終わりました。2学期は、運動会や天支フェスタ、校外学習、修学旅行など、いろいろな行事があり、児童生徒も成長した学期となりました。本年度2回目の進路だよりは、天支フェスタについて、各学部の取組を御紹介します。

小学部 『買い物学習～先輩方の姿から学ぶ～』

小学部は、客として天支フェスタに参加しました。算数や生活科などの学習の中で取り組んでいることを買い物学習を通して実践することができました。「レジでは順番を待つ」、「おつりとレシートを受け取る」などのルールを守って買い物をしました。また、どれを買うか、これを買うにはいくら必要か等、考えて購入することができました。さらに、中学部、高等部の先輩方の接客や販売に取り組む姿を見て、「中学部、高等部ではこんなことをするんだ。」「私もやってみたいな。」などと、見通しをもつことができたようです。天支フェスタの賑やかな雰囲気を楽しみながら買い物をする児童や、人の多さに圧倒された児童など、様々な反応が見られましたが、全てが貴重な経験となりました。



中学部 『天支フェスタから学び、つなぐ』

中学部は、1学期から作業学習を通して天支フェスタの製品作りに取り組んできました。天支フェスタを通して、自分たちが作ってきた製品が売れるのか、お客さんは本当に来てくれるのか等、様々な不安や期待の中、当日を迎えました。当日は大盛況で生徒たちは大きな声を出して呼び込みをしたり、初めての会計の仕事を間違わないように取り組んだり、「ありがとうございました。」とお客様に伝えたりと、それぞれの役割をしっかりと果たすことができました。製品は完売し、みんなで作業学習で学んだことが目に見える形でつながった一日でした。ここで学んだことを将来の「はたらく生活」につなげていけるように今後も作業学習に取り組んでいきたいと思います。



高等部 『つながる学び ～買い物体験から販売実践へ～』

高等部は、マルチ班・クラフト班・窯業班・手工芸班・総合サービス班の各班や個人の目標を達成できるような接客に取り組みました。お客様からの「元気で気持ちのよい接客でした。」というお褒めの言葉をいただくことができました。天支フェスタ当日に高等部として学ぶことも多くありますが、小学部は、買い物学習で金銭感覚を育み、中学部は作った製品が売れることによる満足感や達成感などの「はたらく喜び」を経験する機会となっています。こうした各学部の学びの積み重ねが、高等部での「お金を支払って買い物をするお客様の視点に立った商品づくり」や「お客様への挨拶・販売態度」といった、より洗練された「実践」へとつながっています。進路指導部では、今後もこれら学部間のつながりを大切にしつつ、高等部全体で子どもたち一人ひとりの成長や進路選択に役立つ支援を続けていきたいと思っています。

